

**Q1** 政府系金融機関にはどんなものがあるの？  
どんな役割を担っているの？



**A** 代表的な例として、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、国際協力銀行などが挙げられ、主に民間金融機関の補完という役割を務めています

**政**

府系金融機関（正式には「政策金融機関」とは、政府が経済発展、国民生活の安定などといった一定の政策を実現する目的で、特に法律を制定することにより特殊法人（会社）として設立し、出資金のうち多く（または全額）を政府が出資している金融機関の総称をいいます。  
代表的な例として、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、国際協力銀行などが挙げられます。  
その役割の中心は民間金融機関の補完にあるといえます。例えばリスクが大きな案件について、政

府系金融機関も参画することで（そのリスクを一部背負うことで）、民間金融機関も融資を行いやすくなるといった効果が見込めるのです。

**取引先支援の幅が広がる**

複数ある政府系金融機関のうち、本特別企画では日本政策金融公庫（以下、日本公庫）をメインに取り上げ、日本公庫を活用した取引先の本業支援や創業支援について見ていきたいと思います。  
日本公庫は、100%政府出資の政策金融機関です。国の政策の下、民間金融機関の補完を目的としつつ、社会のニーズに対応して種々の手法により、政策金融を機動的に実施しています。  
民間金融機関も日本公庫と連携することで、取引先支援の幅をより広げることができます。

**Q2** 政府系金融機関との連携が注目されているのはなぜ？  
ベンチマークとの関係は？



**A** 選択ベンチマークの1つに「政府系金融機関との提携・連携先数」という項目が設けられたことなどを理由として連携への関心が高まっています

**い**

ま改めて政府系金融機関との連携が重要視されている最大の理由は平成28年9月に公表された「金融仲介機能のベンチマーク」（以下ベンチマーク）に明記されたからといえるでしょう。  
ベンチマークは、民間金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として金融庁により策定されました。その内容としては、すべての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」（5項目）と、各金融機

関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」（50項目）とで構成されています。  
この選択ベンチマークの1つに「政府系金融機関との提携・連携先数」という項目が設けられました。日本公庫をはじめとした政府系金融機関との連携に力を入れることになるでしょう。

**選択しなかったとしても：**

仮にこの項目を自行庫が選択しなかったとしても、そもそも民間金融機関には取引先の創業支援や本業支援が求められており、その実効性を高めるには政府系金融機関と連携することも1つの選択肢となるはずですが、こうした理由でいま政府系金融機関との連携に対する関心が高まっているのです。

**Q3** 創業支援で政府系金融機関と連携するメリットは何？  
具体的にどんな支援が可能なの？



**A** 政府系金融機関が無担保・無保証で融資できることもあり、リスクが高い創業融資でも創業者の希望を満たす創業支援が可能になります

**こ**

ここでは日本公庫との連携を挙げて、どんな創業支援が可能なかを紹介します。  
そもそも創業支援は、リスクが高く、融資判断が難しい分野のため、なかなか民間金融機関のみで創業者の希望を満たす融資はできないことが多いかと思えます。

実際、創業者には担保となるような事業用資産はないことが多く、また事業の先行きが不透明であることから、民間金融機関では特にプロパーで創業融資を行うと

いうことはなかなか実現できていません。

そのようなとき、日本公庫と連携すれば、そうした課題を解決できる可能性があるのです。

例えば、自行庫に1000万円の創業資金の融資相談があったとしましょう。プロパー融資が難しく、かつ信用保証協会では500万円までの保証承諾しか得られなかった場合、その不足分の500万円を日本公庫で融資できたとしたら、創業者の希望に応えることができます。

**無担保・無保証人で創業融資が可能**

日本公庫は信用保証協会を利用しませんし、無担保・無保証人での創業融資が可能です。融資が実

行できれば、自行庫としては創業者との個人取引にもリスク分散にもつながります。

なおかつ融資後は、自行庫はもちろ日本公庫も創業者の事業の発展のために支援していくことになり、発展につながる多様な支援が可能です。

そのほか日本公庫は、各創業支援機関と連携した創業支援ネットワークを構築しており、創業計画のブラッシュアップ等にも対応できま

●日本公庫の性別、年齢別の創業融資実績 【企業数】

①【創業者の性別】	25年度	26年度	27年度	28年度 上半期	前年同期比(%)
▶女性	4,630	5,070	5,555	3,189	118
うち300万円以下	1,750	1,689	2,195	1,282	121
▶男性	18,170	20,940	20,910	11,541	110
うち300万円以下	5,442	5,398	6,025	3,254	107
合計	22,800	26,010	26,465	14,730	111

②【創業者の年齢別】	25年度	26年度	27年度	28年度 上半期	前年同期比(%)
▶若年層(30歳未満)	2,198	2,182	2,463	1,480	121
▶他の年齢層	20,602	23,828	24,002	13,250	110
合計	22,800	26,010	26,465	14,730	111

※日本公庫の平成28・11・8のニュースリリースより